

# 市民が主役の景観まちづくり



「協働」という言葉を近年よく耳にしますが、<sup>きょうどう</sup>秦野市の景観まちづくりは他に先駆けて「市民や事業者と行政の協働」を打ち出してきました。

景観まちづくりの取り組みは、平成12年に公募市民31名でスタートした「景観資源調査団」から今年で10年を迎えます。これまで様々な取り組みが行われています。

市民が主役の景観まちづくりは、現在の「景観まちづくり市民会議」の活動に着実に受け継がれています。



平成12年10月20日  
景観資源調査団による「まちなみウォッチング」。秦野の景観資源を市内3地区に分かれて調査しました。



平成13年3月24日  
「はだのまちづくりフォーラム2001」。市民による景観まちづくりの調査結果が幅広く公表されました。



平成17年4月29日  
市制50周年を記念した「ふるさと自慢シンポジウム」。好評販売中の「ふるさと秦野景観100選」の原点です。



平成18年2月25日  
身近な景観づくりを学ぶため、「趣味の園芸」講師の玉崎弘志氏による市民参加によるワークショップを開催しました。



平成18年11月3日  
「市民の日」でイベントを開催し、新たに景観まちづくり市民会議のメンバーを募集しました。



平成19年1月20日  
24名の公募市民により、景観まちづくり条例に基づく「景観まちづくり市民会議」が新たにスタートしました。



平成21年2月7日  
「かながわの景観づくりを考えるシンポジウム」で景観まちづくりを実践する団体として市民会議も発表しました。



平成21年4月28日  
「第1回ふるさと秦野生活美観表彰」に市民会議が審査員として参加し、活発な議論が展開されました。



平成21年8月23日  
市民会議の企画・運営による初めてのイベント「街並み体感」を実施し、参加者との意見交換も行いました。



平成21年10月13日  
本町小学校の児童に市民会議が景観の出前授業を実施し、水無川河川敷の花壇づくりにも児童が参加しました。

## メンバーからのメッセージ

市民会議は、景観まちづくりの活動の経験が無くても大丈夫です。「秦野の景観が好き」というだけでなく、「こうすればもっと活気が出て良くなる」という市民目線でまちづくりに前向きな考えをもつ皆さんに是非加わっていただきたいです。  
(牧口信廣さん)

「景観保全活用部会」では、秦野の景観をより良くするための様々な方法を調査し、提案しようとしています。

活動成果を市長に報告しました。  
(平成21年1月23日)



## 活動中!景観まちづくり市民会議



「生活美観普及部会」では、水無川河川敷のモデル花壇の整備を中心に、身近な「生活美観」を広めています。



## メンバーからのメッセージ

秦野駅前のまほろば大橋近くの水無川河川敷にあるモデル花壇は、活動を重ねることで、皆さんに知っていただけるようになりました。是非、ご家庭の庭先でも四季折々の花づくりを実践してみてください。花壇整備の仲間も募集しています。  
(吉田孝雄さん)

## 募集 景観まちづくり市民会議の新メンバー

市民と行政のパイプ役となって、秦野市の景観まちづくりをリードする「景観まちづくり市民会議」。あなたの興味や関心に合った活動分野もきっと見つかります。

- 人数 10人程度(選考あり)
- 任期 平成23年1月から2年間(3期まで継続可)
- 活動内容 全体会議(月1回開催)への出席及び部会毎の現地調査等(随時)への参加。新しい活動提案も歓迎します。
- 申し込み 応募用紙(市役所西庁舎2階都市づくり課、都市づくり課ホームページにあります)に必要事項を書き、12月10日(必着)までに都市づくり課へ郵送または持参、ファクス82-7410、電子メールtosidukuri@city.hadano.kanagawa.jpで提出。後日、志望動機や興味・関心のある分野について面談を行います。
- その他 活動に際して報酬は支給されません。

「市民の日」景観まちづくりコーナーでメンバーが活動内容を紹介します

問い合わせ 都市づくり課 ☎(82)9643